

▲ 居飛車棒銀 矢倉囲い		△ 同形
1	7六歩 角道あけます。	2 8四歩 居飛車にします。
3	6八銀 矢倉にします。	4 3四歩 角交換しませんか。
5	7七銀 角交換は嫌です。矢倉にします。	6 6二銀 攻めの銀を前に進めます。
7	2六歩 飛車先の歩交換を狙います。	8 4二銀 そうはさせません。
9	4八銀 攻めの銀を前に進めます。	10 3二金 矢倉を作り、王様の進路を空けます。
11	7八金 矢倉を作り、王様の進路を空けます。	12 4一玉 王様が囲いに入ります。
13	6九玉 王様が囲いに入ります。	14 5四歩 角道をあけます。
15	5六歩 角道をあけます。	16 5二金 カ二囲いにしました。
17	5八金 矢倉を目指します(六七地点)。	18 3三銀 飛車先を受けて、矢倉ができました。
19	7九角 引き角。争点を変更します。	20 3一角 私もそうします。
21	6六歩 矢倉を築くための布石です。	22 4四歩 私もそうします。
23	3六歩 銀と桂の進路を空けて攻めの準備です。	24 7四歩 私もそうします。
25	6七金右 金銀3枚で金矢倉の完成です。	26 4三金右 私も金矢倉完成です。
27	6八角 矢倉城に王様が入る進路を空けます。	28 7三銀 攻めの銀を前に進めます。
29	7九玉 王様が矢倉城に入ります。	30 6四銀 さらに攻めの銀を進めます。
31	4六歩 私も攻めの銀を前に進めていきます。	32 7三桂 桂馬を攻めに参加させます。
33	4七銀 中央の守りと将来の桂跳ねを狙います。	34 4二角 ▲6八角(27手目)と同じ狙い。
35	2五歩 飛車先の歩を伸ばします。	36 3一玉 王様が矢倉城に入ります。
37	8六銀 △8五桂を事前にかわす。	38 2二玉 王様が入城しました。
39	8八玉 私もです。	40 9四歩 端攻めをしたいです。
41	9六歩 そうはさせません。	42 7二飛 7筋(争点7七)に飛角桂銀の力を集める。
43	3七桂 攻めの準備が整いました。	44 8五桂 私もです。
45	4五歩 戦いを始めましょう。	46 同歩 とります。
47	同桂 銀を取ります。	48 4四銀 銀取りを逃げながら、桂馬を取りにいけます。
49	4六銀 桂馬を守ります。	50 4五銀 銀と桂馬の交換で攻めを防ぎます。
51	同銀 分かりました。	52 4四歩 銀はお帰り下さい。
53	2四歩 角交換したいので、攻めます。	54 同歩 分かりました。角交換しましょう。
55	同角 取ります。	56 同角 取ります。
57	同飛 取ります。	58 2三歩 角交換が終わったので、飛車はお帰り下さい。
59	3四銀 勝算があるので攻めます。	60 同歩 飛車を取ります。取って良いのですか？
61	2三歩 王手です。	62 3一玉 逃げます。
63	4三銀成 金取ります。	64 同金 取り返します。
65	6一角 飛金の両取りです。	66 4二飛 飛車を逃がして、金取りも防ぎます。
67	5一銀 さらに飛車取りです。	68 4一飛 金取りを防ぎ、自分も逃げられるのはココ。
69	2二金 詰み。	70
71		72
73		74
75		76
77		78
79		80

8手目：△4二銀としないと(例えば△5四歩)、▲2五歩△3二角▲5六歩△3二金▲7八金△2二銀▲7九角として、先手は次に▲2四歩△同歩▲同角△同角▲同飛車とされて、先手が少し有利になる。

31手目：▲3七銀から▲4六銀としていく3七銀戦法も有力。

32手目：桂は歩の攻めに弱く、跳んできた桂馬は常にねらいたい(桂頭の歩)。現状は銀が守っているので難しい。

41手目：端歩を受けるか否か。セオリーは、相手が棒銀なら受けない、棒銀以外なら受ける。

46手目：△同歩と取らなければ、▲4四歩△同金△4五歩▲4三金引きで4五地点に位(攻めの拠点)が取れて先手好調。

59手目：飛車を見切るのとは知らないといけない手です。この定跡で身につけましょう。

62手目：△同金なら▲4三銀成で▲優勢。